

東京交響楽団 フィナーレコンサート

Tokyo Symphony Orchestra Finale Concert

慶太楼が贈る、不滅の作曲家たち

8/11 月・祝

【プレトーク】

14:20~14:40

話=原田慶太楼

※本公演と同じお席でお楽しみください。

【開演】15:00

【終演予定】17:00

出演

指揮：原田慶太楼 (東京交響楽団 正指揮者)

Keitaro Harada (Tokyo Symphony Orchestra Permanent Conductor), *Conductor*

ヴァイオリン：服部百音*

Moné Hattori, *Violin*

コンサートマスター：小林孝成

Issey Kobayashi, *Concertmaster*

曲目

芥川也寸志：八甲田山

〔10分〕

Yasushi Akutagawa: Hakkoda-san

No.1 八甲田山(タイトル) — No.10 徳島隊銀山に向う

— No.37 棺桶の神田大尉 — No.38 終焉

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番*

〔35分〕

Bartók: Violin Concerto No. 2

第1楽章 アレグロ・ノン・トロポ

第2楽章 アンダンテ・トランクイロ

第3楽章 アレグロ・モルト

— 休憩〔20分〕 —

ニールセン：交響曲第4番 op. 29

『不滅(滅ぼし得ざるもの)』

〔40分〕

Nielsen: Symphony No. 4, op. 29, "The Inextinguishable"

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する
電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまい
ください。時計のアラーム・時報などは設定の解除を
お願いいたします。ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが
正しく装着されていることをご確認ください。演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の
公演です。ご自分の席でお聴きください。許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断り
いたします(カーテンコール時を除く)。演奏中に音が出ないように十分ご注意ください
(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際
の音・プログラムをめくる音など)。

演奏中の会話はお控えください。

演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を
十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援
をお送りください。

客席内での飲食はご遠慮ください。

館内では咳エチケット・適切な手指消毒を
推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

20世紀の音楽

日本、ハンガリー、デンマークの作曲家が切り拓いた

文 飯尾洋一

天は我々を見放した! 極限の雪中行軍を描く

芥川也寸志：八甲田山

今年生誕100年を迎えた芥川也寸志（1925～1989）は、戦後の日本を代表する作曲家のひとり。芥川龍之介の三男として生まれ、出世作となった『交響管弦楽のための音楽』で大きな注目を集めた。明快な旋律と躍動感あふれるリズムを特徴とした洗練された作風で知られる。

映画音楽や放送音楽の分野でも活躍し、1977年に公開された映画『八甲田山』のための音楽は、第1回日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞している。森谷司郎監督によるこの映画は一大ブームを呼び、「天は我々を見放した」の名セリフは当時の流行語となった。冬の大自然の容赦のない過酷さと、これに立ち向かう人間の弱さが、悲劇的な曲想から伝わってくる。

民俗音楽の研究から新しい音楽を生み出す

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番

ベラ・バルトーク（1881～1945）は20世紀のハンガリーを代表する作曲家。民謡の収集と研究を通して、民俗音楽と先端的な書法を融合させた独自の作風を築き上げた。ヴァイオリン協奏曲第2番の作曲は1937年から38年にかけて。同じハンガリー出身のヴァイオリニスト、ゾルタン・セーケイのために作曲された。バルトークは当初、この協奏曲を巨大な単一楽章の協奏曲として構想していたが、セーケイの強い要望により現行の3楽章制の協奏曲の形に落ち着いた。初演は第二次世界大戦前夜の1939年3月。ファシズムを嫌ったバルトークは、その翌年にアメリカに移住している。

第1楽章は前口上を思わずハープの和音連打で開始され、独奏ヴァイオリンが民俗音楽風の情熱的な主題を奏でる。楽章後半では独奏ヴァイオリンが四分音（半音のさらに半分の音程）を用いて眩暈のような効果を作り出す。**第2楽章**は内省的な変奏曲。**第3楽章**は第1楽章の自由な変奏。目まぐるしく表情を変えるスリリングなフィナーレ。

生命の不滅性を表現したニールセンの交響曲

ニールセン：交響曲第4番『不滅（滅ぼし得ざるもの）』

カール・ニールセン（1865～1931）はデンマークを代表する作曲家。オーケストラの第2ヴァイオリン奏者を16年間にわたって務めた後、作曲に専念し、6曲の交響曲をはじめとする数々の傑作を生み出した。1914年から16年にかけて作曲された交響曲第4番『不滅』は、ニールセンの最高傑作のひとつとして名高い。作品のコンセプトについて、作曲者は「生命の衝動、抑えることのできない生きる意志」を表現したいと述べている。あらゆる生命が持つ根源的な力、生命の不滅性が作品のテーマになっていると考えてよいだろう。

切れ目のない単一楽章による作品だが、4つの部分から構成されている。第1部は輝かしく緊迫感あふれる第1主題と、のびやかな第2主題が対照をなす。第2部は穏やかで牧歌的。切り裂くようなヴァイオリンの叫びとともに第3部へ。弦楽器の輝かしい高速パッセージを経て、第4部では高らかな凱歌が奏でられる。2群のティンパニによる掛け合いは強烈。第1部の第2主題が回帰し、壮大なクライマックスを迎える。

原田慶太楼からのメッセージ 激動の20世紀を生き抜いた3人の作曲家 消えることのない音楽

20世紀のモダニズムを迎える旅

今回のフィナーレコンサートの選曲のテーマは、“20世紀のモダニズム”。取り上げるのは20世紀に活躍した3人の作曲家で、3人とも今年がアニバーサリーイヤーです（芥川は生誕100年、バルトークは没後80年、ニールセンは生誕160年）。3人ともクラシック音楽が大きく変化する20世紀において、伝統的なロマン派のスタイルから脱却し、現代音楽の発展に貢献しました。

時間軸で見ると、ニールセンの交響曲第4番が第一次世界大戦中の1916年の作品、バルトークのヴァイオリン協奏曲第2番が1938年の作品。翌1939年に第二次世界大戦が始まります。芥川也寸志の『八甲田山』は1977年なので戦後ですが、芥川は学生時代に軍楽隊に配属されており、3人とも戦争の時代を生きていました。

それぞれの作曲家の生まれた順番としては、ニールセン（1865～1931）、バルトーク（1881～1945）、芥川也寸志（1925～1989）になるのですが、今回のコンサートの演奏順は芥川、バルトーク、ニールセンと逆になっています。これはあえてこの順番にしました。現在から昔へとさかのぼることで、音楽的な関連性がより見えてくるのではないかと考えたのです。

芥川のオーケストレーションや旋律の美しさ、展開の仕方などに注目すると、少し世代が上のバルトークの音楽の激しさのなかにある美しさ、とくに民俗音楽をベースにしたメロディやハーモニーの美しさとつながる部分があります。この流れの元を辿っていくと、ニールセンが浮かび上がってくる。芥川は日本の伝統音楽の要素を取り入れ、バルトークはハンガリーの民謡からインスピレーションを得て、ニールセンの音楽はしばしばデンマークの

民謡・民話の精神を喚起しました。こうやって見ると、20世紀音楽におけるモダニズムの一端はニールセンから始まっているとも言えます。



©Shin Yamagishi

「絶対に破壊できないもの」

そして、今回の選曲ではもうひとつの大きなテーマがあります。それは「生命」「生きる力」ということです。今回バルトークのソリストとして登場する服部百音さんは、数年前に尺骨神経麻痺でお箸も持てない状態になり、さらにいろいろあつてご体調を崩された時期がありましたが、見事復活して、さらに豊かな表現力を身につけて帰ってきた。彼女のパワーは誰にも止められない。まさにニールセンの第4番の副題『不滅』という言葉がぴったりだと思います。英語では「Inextinguishable」と言いますが、この言葉に私が感じているニュアンスは、「絶対に破壊できないもの」です。ニールセンは第4番について「生命の根源的な意志」がテーマだと言い、また「音楽は生命であり、生命と同様に消えることのないものである」という言葉も残っています。音楽は絶対に消えることはない。今回服部百音さんはニールセンを演奏しませんが、百音さんが出演するこのコンサートで『不滅』を演奏するということは、私にとってとても大きな意味を持っています。

（取材・文：編集部）

■出演者プロフィール



©37 Frames

指揮：**原田慶太楼** Keitaro Harada, *Conductor*

東京交響楽団正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティストック・パートナー、アメリカではジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニック音楽&芸術監督であり、2025年7月からオハイオ州デイトン・フィルハーモニック管弦楽団音楽・芸術監督にも就任。オペラでもジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントを務めた経験を生かして舞台を力強く牽引する、国際的に目覚ましい活躍を続ける期待の俊英。2010年タンブルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国シヨルティ財団キャリア支援賞6度と2023年には日本人初となるトップのコンダクター賞、第29回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ kharada.com / @Khconductor



©YUJI HORI

ヴァイオリン：**服部百音** Moné Hattori, *Violin*

1999年生まれ。8歳でオーケストラと共演。10歳以降様々な国際コンクールで優勝やグランプリを受賞。イタリアでのリサイタルを皮切りに国内外で著名な指揮者、オーケストラと共演を重ねる。ウラディミール・アシュケナージとはスイス、イタリア公演。ハチャトゥリアン音楽祭、トランス・シベリアン音楽祭にも参加。2021年にはNHK交響楽団、パーヴォ・ヤルヴィと共演、翌年はドイツ・カンマーフィルと共演しこちらも好評を博す。2022年から自身の企画でのコンサート「STORIA」を展開している。桐朋学園大学音楽学部大学院修了。使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のガルネリ・デル・ジェス。

オフィシャル・ホームページ <https://www.mone-violin.com/>

■オーケストラ・プロフィール

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra



Jonathan Nott, Music Director

- 【創設】 1946年創立。2004年より川崎市のフランチャイズ・オーケストラ。
- 【指揮者】 ジョナサン・ノット(音楽監督)、
秋山和慶(故人)、ユベール・スダーン(以上、桂冠指揮者)、
原田慶太楼(正指揮者)、大友直人(名誉客演指揮者)、
アルヴィド・ヤンソンス、上田 仁、遠山信二(以上、永久名誉指揮者・故人)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 ミューザ川崎シンフォニーホール、サントリーホール
- 【楽団ウェブサイト】 <https://tokyosymphony.jp>

サマーミュゼ特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュゼ
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

ほぼ日刊サマーミュゼに
感想が載るかも?
[https://gws-net.com/
summermuza2025/](https://gws-net.com/summermuza2025/) →



浴衣 de SUMMER MUZA!

浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュゼ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

法人

【特別賛助会員】
川崎幸病院
川崎信用金庫
キャノン株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ジェフト株式会社
三井不動産グループ

【賛助会員】
税理士法人あおぞら会計
株式会社イープラス
ENEOS株式会社
有限会社エムシーエス・デザインズ
神奈川臨海鉄道株式会社
川崎アゼリア株式会社
公益社団法人川崎市医師会
川崎市信用保証協会

公益社団法人川崎市病院協会
一般社団法人川崎市薬剤師会
川崎鶴見臨港バス株式会社
川崎日航ホテル
かわさきファーズ株式会社
川崎臨港倉庫埠頭株式会社
ケイジーケイ株式会社
公益財団法人JFE21世紀財団
株式会社シグマコミュニケーションズ

セレサ川崎農業協同組合
大本山川崎大師平間寺
高橋昌也税理士・FP事務所
株式会社デイ・シー
東亜石油株式会社
株式会社東芝
日本冶金工業株式会社 川崎製造所
ぴあ株式会社
ホテルメトロポリタン 川崎

ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社ワイイーソリューションズ
*
大宮町内会

他3法人

【わくわくミュゼ法人サポーター】
稲毛神社
おつけもの慶

個人

阿部孝夫
新井智彦
市橋信一郎
井上敏昭
宇佐美清一

遠藤智和
大越麻美子
大須賀徳也
大塚具幸
岡垣克則

小笠原 将
岡田 元
岡野 功
小倉ヒロ・ミハエル
小野洋彰

金山直樹
喜多紘一
木伏源太
久住映子
小菅みつほ

国府保周
後藤 実
小林知子
佐伯 昇
佐藤晴茂

佐藤義寛
新保和浩
杉山弘子
鈴木甚郎
鈴木 徹

高井延幸
高橋美子
竹内啓介
都築 豊
中村紀美子

西 洋子
西山英昭
長谷川喜代江
林 直人
廣瀬治昇

藤嶋とみ子
堀江智巳
前田 泉
松嶋邦生
山内利夫

山下啓史
山田昌克
D.Y
K.O
M.C

N.A
T.Y

他匿名16名
敬称略五十音順

ミュゼ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。